



し
至

せい
誠

生徒指導部だより
種子島中央高等学校生徒指導部 11月号
平成26年11月28日

冬時間への移行

早いもので今年も残り1か月となりました。日没が早くなり午後5時を過ぎるころには外はもうすっかり暗くなってきています。師走となると、何かと慌ただしくなってきました。そのために交通事故の危険性が増していきます。自分は気をつけていてもいつ事故に巻き込まれるかわかりません。運転者に自分の存在がわかるよう心がけてみましょう。車を運転して、危険な思いをしたことがあります。お互い気をつけたいものです。

さて、12月からはバス時刻が冬期時間になりますので、部活の終了時間を確認しましょう。登下校の際の自転車・単車の運転には特に気をつけましょう。無灯火運転や反射ミラー、尾灯の整備不良がないようくれぐれも注意しましょう。また、不審者情報も寄せられていますので、暗い道を一人で歩かないなど自己防衛にも気を配ってください。

《下校時刻など》

冬期（12月～1月）：「午後6時には校門を出ること」

バス下校便（平日）：最終便 午後6時発 となっています。

服装を正そう

現在冬服ですが、女子のスカート丈守られていますか？男子の第一ボタンをはずしてはいませんか？。制服を着崩すことなく正しく着用しましょう。また、上着の上に防寒着を着用するのは校内では認められていないので、学校についたら脱ぎましょう。上着の下に防寒着を着る場合には、男女とも「黒か紺の襟なしのセーター又はベスト」となっているのでその点も再確認して下さい。防寒に関する注意事項は以下の通りです。

《防寒に関する事項》

①上着の下に防寒着を着る場合…黒又は紺の襟なしのセーターかベスト

上着からはみ出さない事（カーディガンは禁止）

②マフラーは、黒・紺・茶

③ひざ掛けは華美でないもの

あなたの行動が社会を変える

東日本大震災で起きた日本人の秩序ある行動は海外でも話題になりました。最近ではサッカーW杯の試合終了後、日本人サポーターが清掃作業をしたことが報道されました。『思いやりの気持ち、助け合い、譲り合い、冷静な判断、おもてなし、親切、マナーの良さが素晴らしく評価されています。』と記事に掲載されました。よく聞く「マナー」、似たようなニュアンスで「エチケット」という言葉もあります。どういうことか知っていますか？

まず「マナー」という言葉は、社会・集団全体として気持ちよく過ごせるような行動の取り方だと言うことができます。たとえば「交通マナー」という言い方があります。これは、「交通ルール」のように違反したら罰せられるものではありませんが、「交通マナー」を守ることによって、歩行者と車の双方が全体として円滑に過ごすことができるようになります。「喫煙マナー」「（携帯電話の）マナーモード」なども、これと同じたぐいのものです。「テーブルマナー」のように、そうすることが望ましいとされている「作法」のようなものを言い表す場合もあります。登下校の際、道いっぱい広がって歩いていませんか？

一方「エチケット」という言葉は、いま目の前にいる相手が不快な気分にならないようにする「気配り」の実践のことだと言えます。最近のことばでは「ネチケツ」という言い方がありますが、これはネット上のメールや電子掲示板などを見た人が不快な気持ちにならないようにすることを言い表したものです。また、「咳(せき)エチケット」(咳が出るときには口に手を当てたりマスクをしたりすること)のように、おもに衛生的なものにかかわる場合にもよく使われます。制服の着こなしや、丁寧な言葉遣いも含まれます。相手の話を最後まで聞くことも「エチケット」なのです。

「人に喜ばれることをする」「人が嫌がることはしない」といった当たり前の行為の積み重ねこそマナーの本質ですが、それがわかってもできない、あるいはその判別がつかない人がいます。人に喜ばれることをすることによって“自分の心が豊かになる”ということを実感し、人から嫌がられることが“自分の人生を虚しくする”ということに気付いてほしいと思います。

人から言われてから、自分の行動を改めることができるということは、素晴らしいことですが、人から言われなくてもまた人を見ていなくても、ひとりが生きていく上でのマナーを身につけてくれるともっと素敵な社会になるとは思いませんか。

自分の人生を変えるのはあなた、社会を変えるのもあなたなのです。よりよい人間関係を築く一歩があなたの行動そのものなのです。種子島中央高校の一員として、あなたができることはまだまだ沢山あるような気がしてなりません。

自分の行動を振り返ってみて、“今の自分の生き方”に満足することができるのか、自分に問いただしてみてください。